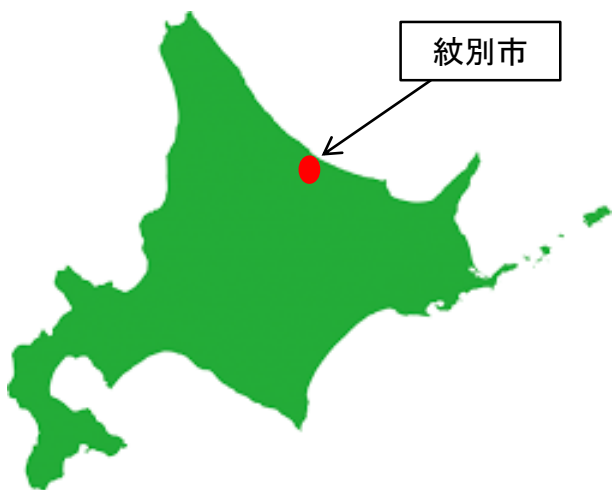


今シーズン初！ 北海道の野鳥糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出！！

10月24日(土)に北海道紋別市で採取された野鳥糞便から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)が検出されました。

国内での高病原性鳥インフルエンザウイルス確認は今シーズン初めてとなります。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。



【経緯】

10月24日(土)

・北海道紋別市で野鳥の糞便を採取

10月30日(金)

・北海道大学が検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)が検出

・採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- 防鳥ネットなどによる野鳥の家きん舎への侵入防止
- 農場に入る車両の徹底消毒
- ネズミなどの小型野生動物の侵入防止
- 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒



▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へご連絡ください。

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)

FAX:0774-52-2030